

## 外貨投資の視点 (No.280)

リサーチ部 チーフ為替ストラテジスト 植野 大作

2016年6月27日

### ドル円相場の予測を下方修正: 英EU離脱で想定レンジ下振れ

ポイント

- 6.23英国国民投票で「EU離脱」のリスク・シナリオが炸裂、相場環境の激変を受け、ドル円相場の予測を下方修正
- 新しい予測パターンでの2017年1-3月期の下値目処は、1ドル=99円50銭(想定レンジ=93円00銭~106円00銭)
- 「英EU離脱ショック」の世界経済・金融市場への影響を今後精査、必要に応じて予測パターンを機動的に見直し

ドル円相場の予測を下方修正。2017年1-3月期の予想レンジは1ドル=93円00銭~106円00銭

ドル円相場の見通しを下方修正する。従来予測で提示していた2017年1-3月期のドル円相場の下値目処は1ドル=97円50銭~110円50銭だったが、6.23英国国民投票で「欧州連合(EU)離脱」のリスク・シナリオが炸裂したことに伴い、これを大幅に下方修正するのが妥当だと判断した。新しい予測パターンにおける17年1-3月期の予想レンジは1ドル=93円00銭~106円00銭だ。ポイントは以下の通り。

英国国民投票でのEU離脱派勝利を受け、急激な円高が加速

6月23日(木)に実施された英国国民投票で「EU離脱」の民意が示された。我々を含めた大方の市場関係者が「EU残留」を予測していたこともあり、直後に喚起されたポンド安・円高ショックは事前の想定を遥かに超えた。日本時間24日の6:00過ぎに開票が始まった後、ポンド円相場は直後の高値160円18銭5厘から13:27頃に記録した安値133円31銭4厘まで、最大高低差で▲26円87銭1厘にも達する大暴落を記録した。ドル円相場も当然のように巻き込まれ、早朝高値の106円84銭から11:43頃につけた安値99円02銭まで、瞬間風速とはいえ、約5時間半で▲7円82銭も暴落した。

我々の事前想定を遥かに超えるマグニチュードでポンド円とドル円が暴落

恥ずかしながら、英国がEU離脱の民意を示した場合に、これほどまでに強烈な円高ショックが喚起されるとは全く想像できなかった。6月14日(火)に発行した外貨投資の視点(No.278)「英国の欧州連合(EU)離脱懸念と外国為替相場」で筆者が示していた離脱の場合の想定インパクトは、ポンド円で「▲5円~10円」、ドル円で「▲2円~4円」だった。実際に引き起こされた円高ショックは、ポンド円では筆者の想定「ダブルスコア」を遥かに超え、ドル円でも倍近くに達している。英国のEU離脱ショックによる円高の衝撃が、我々の想定を遥かに凌駕していたことについて、素直に認めて脱帽するしかない。

ドル円相場のチャート・フェイス刻み込まれた「差し込み傷」が一段と深入り

結果的に、ドル円相場のチャート・フェイスに刻み込まれた「差し込み傷」は、前年同期の水準を一段と下回る深度に達しており、長期トレンドがすぐに上昇基調に復帰することが絶望的な「見た目の印象」が一段と強まっている(図1)。「約5時間半で▲7円82銭」もの円高は流石にスピード違反であり、このまま一気に「二桁円台」が定着するとは思えないが、自律反発による多少の戻りもがあったとしても、すぐに上昇トレンドに復帰するのは恐

本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

らく無理だろう。チャートの形がこれだけ急激に崩れてしまうと、ある程度の日柄調整が入るまでは、長期トレンドの傾きを重視してトレードに参加している為替市場関係者の間に底入れへの期待が湧いてきにくい。ドル円相場を主戦場に活躍する仮需系のプレイヤーの基本戦略は「戻り売り」優位の状態が一段と定着するとみられるほか、実需系プレイヤーの売買注文が稼働する水準も一層低下したとみられる。

図1:2011年来のドル円相場と「前年同期の雲」の水準



出所:ブルームバーグより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

当面は「レベル感」よりも「方向感」を重視、想定レンジの下限を大幅に引き下げ

現時点では英国のEU離脱交渉が始まる時期すら決まっておらず、英国発の「EU離脱ウイルス」が欧州各国にどれほど感染するのかわからない。一般に、市場関係者は「先の読めない不透明な状態」を最も忌み嫌う。市場が平常心を保っている時期ならば、ある程度の水準までドル円相場の調整が進んだところで各種リアルマネー筋による「値頃感からの買い」や「為替ヘッジ外し」が下値をサポートし始める局面がいずれ到来するとの期待も持てるが、昨今のドル円相場の異常なボラの高さを考慮すると、単純な値頃感だけで「トレンド・アゲインストの逆張り売買」が盛り上がるとは思えない。当面はドル円相場の予測に際して、「レベル感」より「方向感」を重視するのが無難だろう。英国のEU離脱ショックを受けて、従来の想定より早いタイミングでドル円相場の下ヒゲが「100円割れ水準」に差し込んだ事実に鑑み、各四半期の想定レンジを▲3.5円以上の幅で引き下げるのが妥当だと判断した。いわゆる「オーバーシュートの領域」に踏み込んで行く場合は、定着するかどうかは兎も角、過去のドル高・円安局面で稼いだ上昇貯金の61.8%押しに相当する94円67銭の攻防線を突破する可能性も排除すべきではないだろう(図2)。

今のところ、ドル円相場の底入れ時期は2017年1-3月期との判断を維持

一方、あくまで現時点での判断だが、今回の予測改定でドル円相場の「下値目処」は引き下げたものの、「底入れ時期」については、今のところ2017年1-3月期で据え置いている。英国民投票の結果を受け、ドル円相場の「差し込み傷」は一段と深入りしたが、結果的に筆者がトレンド判定の際に重視している52週移動平均線が将来的に底入れするために超えねばならぬハードルは、今から約52週間後の「来年同期」には日柄調整の進

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

展によって急速に下がっていくことになる。英国のEU離脱ショックが米国経済を腰折れに誘うカタリスト(触媒)にならず、米国景気が緩やかな回復基調を維持し続けるならば、「金融政策正常化のプロセスを慎重ながらも進められる米国」と「出口の見えない異次元緩和の迷宮を彷徨い続ける日本」の印象格差が来年春先以降の頃には再び鮮明になり、長期トレンド底入れの期待が明滅し始めるとの判断を維持しておきたい。

図2:ドル円相場(週足)の推移



出所:ブルームバーグより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

ただ、英EU離脱による経済・金融・政治へのインパクトを見極めるには時間が必要

もともと、我々が想定していた以上のマグニチュードでドル円相場やクロス円相場の水準を一気に押し下げた英国のEU離脱ショックがこれからもたらす(かもしれない)世界経済への悪影響を、拙速な判断で甘く見過ぎるのも危険だ。現時点では英国のEU離脱が「グローバルな金融仲介の機能をフリーズさせる」との懸念までは発生しておらず、「金融システム不安の伝染を通じて世界各国に同時不況をもたらしたリーマン・ショックとは異質の危機である」との指摘が多いが、グローバル化の波に置き去りにされた人々の衆怒がもたらす排外主義が、英国以外の国々にも次々に感染して国境を跨る自由な人、モノ、カネの流れが不可逆的に滞る場合、戦前の大恐慌期のような政治・政策主導の複合不況の引き金になるリスクを懸念する声もある。その確率をどの程度の深刻さでみるかについては十人十色になりそうだが、傾聴すべき意見であることは間違いない。

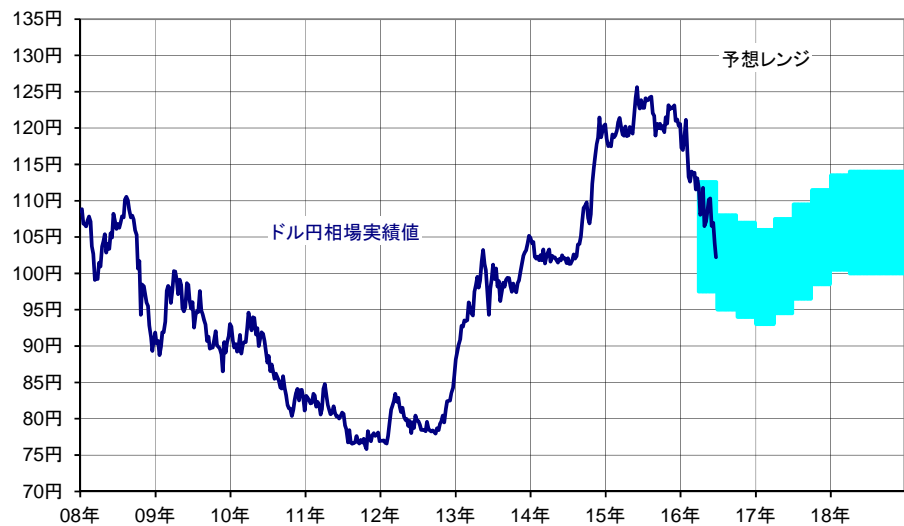
今回の予測変更はテクニカル主導の暫定判断、ファンダメ絡みの変化が生じた場合は更に見直し

いずれにしろ、現時点では英国投票の結果が判明してからまだ1週間も経過しておらず、この先のマクロ経済・金融・為替市場に与える影響を完全に見極めるのは不可能だ。外国為替市場で想定以上のボラ・アップを喚起した状況に鑑み、現時点では主にテクニカル・ジャッジメント主導で我々のドル円相場予測を暫定的に変更したが、債券市場分析

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

チームとも相談の上、この先のファンダメンタルズ・ジャッジメントについて根本的な改変を強いられるような環境変化に直面した場合は、更なる見直し変更の可能性も視野に入れている。引き続き、機動的な予測パターンへの修正に努めたいと考えている。

図3: 2016年-18年のドル円相場の見直し



出所:実績はブルームバーグ提供の週末値。予想は三菱UFJモルガン・スタンレー証券

表1: 為替相場見直し

		予想								2015年	予想			
		2016年				2017年					2018年	2016年 (予想)	2017年 (予想)	2018年 (予想)
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期				
ドル円 [円/ドル]	レンジ	110.67-121.69	97.5-112.57	95.0-108.0	94.0-107.0	93.0-106.0	94.5-107.5	96.5-109.5	98.5-111.5	100.5-113.5	115.86-125.86	94.0-121.69	93.0-111.5	100.0-114.0
	期末値	112.57	102.5	101.5	100.5	99.5	101.0	103.0	105.0	107.0	120.22	100.5	105.0	107.0
ユーロ円 [円/ユーロ]	レンジ	122.09-132.22	108.5-128.17	103.5-119.8	100.4-116.7	97.3-113.6	95.9-113.2	96.9-113.2	96.8-113.2	98.8-115.2	126.10-145.48	100.4-132.32	96.8-113.6	98.2-115.8
	期末値	128.11	114.8	111.7	108.5	105.5	105.0	105.1	105.0	107.0	130.64	108.5	105.0	107.0
ユーロドル [ドル/ユーロ]	レンジ	1.071-1.141	1.070-1.162	1.035-1.165	1.015-1.145	0.995-1.125	0.975-1.105	0.955-1.085	0.935-1.065	0.935-1.065	1.046-1.211	1.015-1.165	0.935-1.125	0.930-1.070
	期末値	1.138	1.120	1.100	1.080	1.060	1.040	1.020	1.000	1.000	1.086	1.080	1.000	1.000

出所:ブルームバーグより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。ユーロドルは小数点以下4桁を四捨五入。予想は弊社:最終変更日時は6月24日21:00

(6月27日 10:00)

## Appendix A

### アナリストによる証明

本レポート表紙に記載されたアナリストは、本レポートで述べられている内容（複数のアナリストが関与している場合は、それぞれのアナリストが本レポートにおいて分析している銘柄にかかる内容）が、分析対象銘柄の発行企業及びその証券に関するアナリスト個人の見解を正確に反映したものであることをここに証明いたします。また、当該アナリストは、過去・現在・将来にわたり、本レポート内で特定の判断もしくは見解を表明する見返りとして、直接又は間接的に報酬を一切受領しておらず、受領する予定もないことをここに証明いたします。

### 開示事項

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（以下「MUMSS」）は、MUMSSのリサーチ部門・他部門間の活動及び／又は情報の伝達、並びにリサーチレポート作成に関与する社員の通信・個人証券口座を監視するための適切な基本方針と手順等、組織上・管理上の制度を整備しています。

MUMSSの方針では、アナリスト、アナリスト監督下の社員、及びそれらの家族は、当該アナリストの担当カバレッジに属するいずれの企業の証券を保有することも、当該企業の、取締役、執行役又は顧問等の任務を担うことも禁じられています。また、リサーチレポート作成に関与し未公表レポートの公表日時・内容を知っている者は、当該リサーチレポートの受領対象者が当該リサー

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。



チレポートの内容に基づいて行動を起こす合理的な機会を得るまで、当該サーチに関連する金融商品（又は全金融商品）を個人的に取引することを禁じられています。

アナリストの報酬の一部は、投資銀行業務収入を含む MUMSS の収益に基づき支払われます。

MUMSS 及びその関連会社等は、本レポートに記載された会社が発行したその他の経済的持分又はその他の商品を保有することがあります。MUMSS 及びその関連会社等は、それらの経済的持分又は商品についての売り又は買いのポジションを有することがあります。

MUMSS・その他 MUFG 関連会社、又はこれらの役員、提携者、関係者及び社員は、本レポートに言及された証券、同証券の派生商品及び本レポートに記載された企業によって発行されたその他証券を、自己の勘定もしくは他人の勘定で取引もしくは保有したり、本レポートで示された投資判断に反する取引を行ったり、マーケットメーカーとなったり、又は当該証券の発行体やその関連会社に幅広い金融サービスを提供しもしくは同サービスの提供を図ることがあります。

MUMSS の役員（以下、会社法（平成 17 年法律第 86 号）に規定する取締役、執行役、又は監査役又はこれらに準ずる者をいう）は、次の会社の役員を兼任しています：三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱倉庫。

## 免責事項

本レポートは、MUMSS が、本レポートを受領される MUMSS 及びその関連会社等のお客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買の推奨あるいは特定の証券取引の勧誘、申込みを目的としたものではありません。

本レポート内で MUMSS に言及した全ての記述は、公的に入手可能な情報のみに基づいたものです。

本レポートの作成者は、インサイダー情報を使用することはもとより、当該情報を入手することも禁じられています。MUMSS は株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下「MUFG」)の子会社等であり、MUMSS の方針に基づき、MUFG については投資判断の対象としておりません。

本レポートは、MUMSS が公的に入手可能な情報のみに基づき作成されたものです。本レポートに含まれる情報は、正確かつ信頼できると考えられていますが、その正確性、信頼性が客観的に検証されているものではありません。本レポートはお客様が必要とする全ての情報を含むことを意図したものではありません。また、MUMSS 及びその関連会社等は本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポート内で示す見解は予告なしに変更されることがあり、また、MUMSS は本レポート内に含まれる情報及び見解を更新する義務を負うものではありません。ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について当社は一切責任を負いません。

当社は、本レポートの論旨と一致しない他のレポートを発行している、或いは今後発行する場合があります。また、MUMSS は関連会社等と完全に独立してレポートを作成しています。そのため、本レポート中の意見、見解、見通し、評価及び目標株価は、異なる情報源及び方法に基づき関連会社等が別途作成するレポートに示されるものと乖離する場合があります。

本レポートで直接あるいは間接に採り上げられている有価証券は、価格の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがあります。また、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。本レポートにて言及されている投資やサービスはお客様に適切なものであるとは限りません。お客様は、独自に特定の投資及び戦略を評価し、本レポートに記載されている証券に関して投資・取引を行う際には、専門家及びファイナンシャル・アドバイザーに法律・ビジネス・金融・税金その他についてご相談ください。

MUMSS 及びその関連会社等は、お客様が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる結果のいかなるもの（直接・間接の損失、逸失利益及び損害を含むがこれらに限られない）についても一切責任を負わないと共に、本レポートを直接・間接的に受領するいかなる投資家に対しても法的責任を負うものではありません。

本レポートの利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、又は保証するものではありません。特に記載のない限り、将来のパフォーマンスの予想はアナリストが適切と判断した材料に基づくアナリストの予想であり、実際のパフォーマンスとは異なることがあります。従って、将来のパフォーマンスについては明示又は黙示を問わずこれを保証するものではありません。

本レポートの利用に際しては、上記の一つ又は全ての要因あるいはその他の要因により現実的もしくは潜在的な利益相反が起こりうることをご認識ください。なお、MUMSS は、会社法第 135 条の規定により自己の勘定で MUFG 株式の売買を行うことを禁止されています。

本レポートで言及されている証券等は、いかなる地域においても、またいかなる投資家層に対しても販売可能とは限りません。本レポートの配布及び使用は、レポートの配布・発行・入手可能性・使用が法令又は規則に反する、地方・州・国やその他地域の市民・国民、居住者又はこれらの地域に所在する者もしくは法人を、対象とするものではありません。

**英国及び欧州経済地域:** 本レポートが英国において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である Mitsubishi UFJ Securities International plc. (以下「MUSI」。電話番号: +44-207-628-5555)により配布されます。MUSI は、英国で登録されており、Prudential Regulation Authority (ブルーデンス規制機構、「PRA」)の認可及び Financial Conduct Authority (金融行動監視機構、以下「FCA」)と PRA の規制を受けています(FS Registration Number 124512)。本レポートは、professional client (プロ投資家)又は eligible counterparty (適格カウンターパーティー)向けに作成されたものであり、FCA 規則に定義された retail clients (リテール投資家)を対象としたものではありませんので、誤解を回避するため、同定義に該当する顧客に交付されるべきではありません。MUSI は、本レ

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。

ポートを英国以外の欧州連合加盟国においても professional investors（若しくはこれと同等の投資家）に配布する場合があります。本レポートは、MUSI の組織上・管理上の利益相反管理制度に基づいて作成されています。同制度には投資リサーチに関わる利益相反を回避する目的で、情報の遮断や個人的な取引・勧誘の制限等のガイドラインが含まれています。本レポートはルクセンブルク向けに配布することを意図したものではありません。

**米国:** 本レポートが米国において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である Mitsubishi UFJ Securities (USA), Inc. (以下「MUS-USA」。電話番号：+1-212-405-7000) により配布されます。MUS-USA は、United States Securities and Exchange Commission (米国証券取引委員会) に登録された broker-dealer (ブローカー・ディーラー) であり、Financial Industry Regulatory Authority (金融取引業規制機構、「FINRA」) による規制を受けています (SEC# 8-43026; CRD# 19685)。本レポートが MUS-USA の米国外の関連会社等により米国内へ配布される場合、本レポートの配布対象者は、1934 年米国証券取引所法の規則 15a-6 に基づく major U.S. institutional investors (主要米国機関投資家) に限定されております。MUS-USA 及びその関連会社等は本レポートに言及されている証券の引受業務を行っている場合があります。本レポートは証券の売買及びその他金融商品への投資等の勧誘を目的としたものではありません。また、いかなる投資・取引についてもいかなる約束をもするものでもありません。FLOES は MUS-USA の登録商標です。

IRS Circular 230 Disclosure (米国内国歳入庁 回示 230 に基づく開示) : MUS-USA は税金に関するアドバイスの提供は行っていません。本レポート内 (添付文書を含む) の税金に関する記述は MUS-USA 及び関連会社以外の個人・法人が本レポートにおいて研究する事項に関する勧誘・推奨を行う目的、又は米国納税義務違反による処罰を回避する目的で使用することを意図したのではなく、これらを目的とした使用を認めておりません。

**日本:** 本レポートが日本において配布される場合、その配布は MUFG のグループ会社であり、金融庁に登録された金融商品取引業者である MUMSS (電話番号：03-6742-6750) が行います。

**シンガポール:** 本レポートがシンガポールにおいて配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である Mitsubishi UFJ Securities (Singapore), Limited (以下「MUS-SPR」。電話番号：+65-6232-7784) とのアレンジに基づき配布されます。MUS-SPR はシンガポール政府の承認を受けた merchant bank であり、Monetary Authority of Singapore (シンガポール金融管理局) の規制を受けています。本レポートの配布対象者は、Financial Advisers Regulation of the Regulation 2 に規定される institutional investors, accredited investors, expert investors に限定されます。本レポートは、これらの投資家のみによる使用を目的としており、それ以外の者に対して配布、転送、交付、頒布されてはなりません。本レポートが accredited investors 及び expert investors に配布される場合、MUS-SPR は Financial Advisers Act の次の事項を含む一定の事項の遵守義務を免除されます。第 25 条：一定の投資商品に関してファイナンシャル・アドバイザーが全ての重要情報を開示する義務、第 27 条：ファイナンシャル・アドバイザーが合理的な根拠に基づいて投資の推奨を行う義務、第 36 条：ファイナンシャル・アドバイザーが投資の推奨を行う証券に対して保有する権利等について開示する義務。本レポートを受領されたお客様で、本レポートから又は本レポートに関連して生じた問題にお気づきの方は、MUS-SPR にご連絡ください。

**香港:** 本レポートが香港において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である Mitsubishi UFJ Securities (HK) Limited (以下「MUS-HK」。電話番号：+852-2860-1500) とのアレンジに基づき配布されます。MUS-HK は Hong Kong Securities and Futures Ordinance に基づいた認可、及び Securities and Futures Commission (香港証券先物取引委員会；Central Entity Number AAA889) の規制を受けています。本レポートは Securities and Futures Ordinance により定義される professional investor を配布対象として作成されたものであり、この定義に該当しない顧客に配布されてはならないものです。

**その他の地域:** 本レポートがオーストラリアにおいて配布される場合、MUS-HK 又は MUS-SPR により配布されています。MUS-HK は Australian Securities and Investment Commission (ASIC) Class Order Exemption CO 03/1103 に基づき、Corporations Act 2001 が定める金融サービスの提供者によるオーストラリア金融業免許の保有義務を免除されています。MUS-SPR は ASIC Class Order Exemption CO 03/1102 により同様に義務を免除されています。本レポートはオーストラリアの Corporations Act 2001 に定義される wholesale client のみを配布対象としております。本レポートがカナダにおいて配布される場合、本レポートは MUSI 又は MUS-USA により配布されます。MUSI および MUS-USA は international dealer exemption の措置により次の各州において金融取引業者としての登録を免除されています：アルバータ州、ケベック州、オンタリオ州、ブリティッシュ・コロンビア州、マニトバ州 (MUSI のみ)。本レポートはカナダにおける National Instrument 31-103 によって定義された permitted client のみを配布対象としております。

又は本レポートは、インドネシアにおいて複製・発行・配布されてはなりません。また中国 (中華人民共和国「PRC」を意味し、PRC の香港特別行政区・マカオ特別行政区、及び台湾を除く) において、複製・発行・配布されてはなりません (ただし、PRC の適用法令に準拠する場合は除きます)。

本レポートは、米国、日本やその他の証券規制法規により配付を制限されている投資家、および個人投資家を対象にしたものではありません。

債券取引には別途手数料はかかりません。手数料相当額はお客様にご提示申し上げる価格に含まれております。

Copyright © 2016 Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd. All rights reserved.

本レポートは MUMSS の著作物であり、著作権法により保護されております。MUMSS の書面による事前の承諾なく、本レポートの全部もしくは一部を変更、複製・再配布し、もしくは直接的又は間接的に第三者に交付することはできません。

〒112-8688 東京都文京区目白台 3-29-20 目白台ビル 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 リサーチ部

(商号) 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 2336 号

(加入協会) 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。巻末に重要な注意事項を記載していますので、ご参照下さい。